

「国有林野のエネルギー資源利用検討会」の開催について

1 趣旨

わが国の脊梁山地に広がり、国土の約2割を占める国有林野には、風力はもとより、小水力や森林バイオマス等のエネルギー資源が豊富に賦存しています。

一方、近年、再生可能でクリーンなエネルギーに対する期待が高まっているほか、各地で風力等を利用した発電に対する取り組みが進められており、今後、地球温暖化の防止のみならず、地域振興等の観点で、これらのエネルギー資源の活用が期待されています。

このため、国有林野に賦存するエネルギー資源について、地域で具体的にどのように利用していくのか、そのためにどのような工夫やシステム整備をしなくてはならないか、について検討する「国有林野のエネルギー資源利用検討会」（以下「検討会」という。）を開催します。

2 検討会のメンバー 別紙のとおり。

3 検討内容

- 国有林野のエネルギー資源の賦存状況について
- 国有林野のエネルギー資源の利用手法について
- 国有林野のエネルギー資源の利用のあり方について

4 検討会の進め方

学識経験者、技術者、国有林野が所在する地方公共団体の首長等をメンバーに第1回を8月4日(金)に開始し、以降月1～2回程度のペースで検討会を開催し、報告を取りまとめます。



問い合わせ先

林野庁経営企画課

総合調整担当企画官 福田隆政（内線 6471）

担当者 大竹武司（内線 6496）

TEL 03-3502-8111（代表）

03-3502-0724（直通）